

海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な収蔵品が
日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記を
めくるように積み重ねた歴史を紹介します

“乗客案内『郵船図会』”



乗客案内『郵船図会』
『風俗画報』臨時増刊第239号
1901(明治34)年 東陽堂発行

『風』

俗画報』は日本橋葺屋町(東京都、現日本橋人形町界隈)の出版印刷会社東陽堂が発行した日本最初のグラフィック雑誌です。大

日本帝国憲法が公布された1889(明治22)年2月から第一次世界大戦中の1916(大正5)年3月まで、通算478号、増刊号を含め計518冊が刊行されています。

1901(明治34)年に増刊号として発行された乗客案内『郵船図会』は、豪州航路に就航する当社の貨客船「春日丸」に記者が実際に乗船し、乗船時の手順をはじめ船内での過ごし方や船内設備、一等から三等の客室、食堂、船長室など各室を取材した体験レポートです。船内の様子や、当時まだあまり知られていなかった西洋式の習慣やマナーを、カラーの挿絵を交えて日本人向けに紹介しています。

彩色石版画による挿絵からは、煌びやかな一等食堂での食事風景や喫煙室で紳士たちが楽しそうにゲームに興じる様子、デッキで洋装や和装の婦人が会話を楽しむ情景など、当時の乗船客の生き生きとした姿が鮮やかに甦ります。乗船客だけではなく、忙しくデッキを清掃する水夫たちや貨物を積み込む様子、珍しいものでは停泊中に現地の商人が品物を広げて乗船客に売り込む光景も描かれています。

船室の内装から乗船客の服装に至るまで、明治中期の船旅の生活風景をうかがい知ることができる貴重な資料です。

問い合わせ

日本郵船歴史博物館

■所在地：神奈川県横浜市中区海岸通3-9
■電話：045-211-1923
■開館時間：午前10時～午後5時
(最終入館：午後4時30分)
■休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

■入館料：一般400円
シニア(65歳以上)・中高生250円
小学生以下無料
(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の提示で入館無料)
■ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>